

# まちづくりミーティング開催結果概要



## 開催テーマ 不登校児童生徒の現状と対策について

### 参加者

教育長

NEXTAGE SCHOOL 2名

あんしゃ 3名

桐生市長

傍聴者 1名

報道機関 2名

日時：令和7年3月14日（金）午前10時00分～午前11時00分

場所：桐生市教育センター 3階 教育委員会室

1 開会

2 あいさつ

3 自己紹介

4 議題

## 不登校児童生徒の現状と対策について

意見交換のポイント

- 学校及び各フリースクールの現状と課題について
- 課題解決に向けた連携について

5 閉会



**(市長)**  
 本日は開催テーマを「不登校児童生徒の現状と対策について」とし、皆さんの意見や提案を伺い、共に取り組むことでより効果的な支援策を模索してまいります。

**意見交換のポイント**

- 「学校及び各フリースクール」の現状と課題について
- 「課題解決に向けた連携」について

まずは、一つ目のポイントである「**現状と課題**」について、皆さんより説明をいただきたい。

**(教育委員会)** (教育環境課・学校教育課) より現状と課題について資料に基づき説明  
 ※別添参照

**(市長)**  
 教育委員会からの説明に対し、質問や感想を伺いたい。



**(ネクステージ)**

桐生市の不登校の児童生徒数について、具体的な数字を聞くことができた。その規模感の中で、我々フリースクールが市とどのような連携ができるか、教育支援センターとの組み合わせ方についてもいくつか考えた。考えが浮かんだものがあった。

**教育委員会の説明を受けて**

**(あんしや)**

桐生市の不登校の児童生徒数がどれぐらいいるのかが正確に分かったのが良かった。そのような実態の中で、教育支援センターがフリースクールに求めることがあれば、ぜひ支援させていただきます。



(ネクステージスクールよ  
り現状と課題について資料  
に基づき説明)

※別添参照



(市長)

ネクステージスクールが  
らの説明に対し、質問や感  
想を伺いたい。

(あんしや)  
同じフリースクールとし  
て共感できる部分が多くあ  
り、特徴的だと感じたこと  
は、「インクルーシブ教  
育」という点で、一般的に  
は、国籍や人種、障害のあ  
るなしにかかわらず、全て  
の子どもが共に学び合う教  
育のことをいうが、ネクス  
テージさんについては、学  
校に行っていない子も行って  
いない子も関係なくという  
ところを「インクルーシブ  
教育」として定義されてお  
り、色々な価値観に幼少期  
から触れることでその後の  
人生に大きく影響してくる  
と思われるため、このよう  
な考えを持たれていること  
が素晴らしいと感じた。

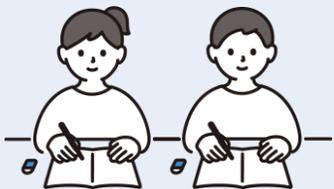


## ネクステージスクールの 説明を受けて



(教育長)

特徴としては「自分で決  
める」という点であり、主  
体的に学べる人を育てたい  
という願いが込められてい  
ると感じた。教育委員会と  
しても大切なことであると  
感じており、子どもたちに  
身に付けさせたい力である  
と捉えている。  
しっかりとした運営方針  
により、取り組んでいただ  
いているというのを感じ  
た。



(あんしや)

自分で決める「自己決定  
力」を養うことを大切にし  
ているという点は、我々あ  
んしやでも重要な手段であ  
ると考えており、とても素  
敵なスクールであると感じ  
た。  
また、フリースクールの  
存在について、本当に必要  
な方に関する情報がしっか  
り届かないという課題につ  
いても、私たちももどかし  
さを感じており、大変共感  
できた。



(あんしやより現状と課題について資料に基づき説明)  
※別添参照



あんしやの説明を受けて

(市長)  
あんしやからの説明に対し、質問や感想を伺いたい。



(教育長)  
通われているお子さん自身の状況と個々の家庭の考えに寄り添って迎え入れていただいていると感じた。  
あんしやさんの自分らしさを尊重して心のケアを行うオルタナティブスクールならではの姿勢であると捉えている。安心して通えるように子どもや家庭の障害となっていない部分を取り除くことを感じた。  
“通いやすさ”ということは何よりも大切なものであると思われる。

(ネクステージ)

同じ課題や考えを持っていて感じた。スクールを運営している以上、仮に学校復帰ができなかったとしても、あんしやさんや我々を通して社会的自立ができるようにしていかなければならぬ、そこを目指して職業につながらる活動を行っていることは本当に素晴らしいと感じた。  
また、スクールの運営は本当に難しいという点もよく分かり、そのような中で新たな事業を展開していくなど、スクールを守ろうという姿勢についても素晴らしいと感じた。  
これまで、あんしやさんとの関わりもなかったため、今後、何か連携できれば良いと思う。



(ネクステージ)

自分が魅力的であると感じたのは体験学習であり、畑作業や鳥の巣箱の作製、英語に力を入れていく点など、あんしやさんの学びの多様性という色々な選択肢を子どもたちに提供して、その子が輝ける場所を一生懸命作っているという熱意を感じた。  
また、いじめに対する考えについても共感できた。子どもたちが精神的に追い詰められた際に、フリースタイルという居場所のような選択もあるということを示すことができれば、子どもたちの支えになると思うため、今後の子どもたちの人生に貢献できるように取り組んでいきたい。





**(あんしや)**  
 私たちの考える課題解決に向けては、ネットワークステーションと共通点が多い。やはり周知という点では、フリースクールを必要としている方へしっかりと情報を届けたいと考えている。例えば市民がよく見ている「広報きりゆう」にフリースクールの情報を掲載していただくなどを検討していただきたい。  
 また、送迎用のバスについて、新里町には路線バスの通っていないが、先ほどの話にもあったように送迎の負担を減らすことができれば通える点も増えると思うため、その点について市と一緒に考えていければと思う。

**課題解決に向けた連携について ~あんしやより提案~**



**(市長)**  
 皆さんから色々な建設的な意見を伺う中で、子どもの多様性に寄り添い、その子に合った居場所を確保しながら、自分で考える力を養い、自己肯定感を高めることが大切であるということを感じた。  
 今回のミーティングをきっかけとして、お互い何か相談したいことがあるときは、継続して意見交換ができる場を持てればと考えているため、今後もよろしくお願ひしたい。



**(教育長)**  
 私たちが共通して対象としている「学校児童生徒」というのは、「学校以外が居場所」となっている子どももいる。今あると理解している。今二つのフリースクールの話を伺うとともに、教育支援センターの状況についても説明させていただき、子どもたちにとって今必要としている居場所について、継続して考えていきたい。本日は、今後の関係づくりの第一歩になったと思う。  
 各施設に通う子どもにも、広くいえば、市外の子どももいる。あるため、預かっている側として、子どもたちが相互理解を深めていきたいと思います。

